

埼玉県議会議員

県政
報告
自民党

柿沼貴志

柿沼貴志(かきぬま たかし/49歳 A型)プロフィール

- 平成23年35歳の時に行田市議会議員選挙に初挑戦し、1,759票の信託をいただき初当選。
- 平成27年39歳の時に県議選に初挑戦12,752票をいただいたものの432票差で次点。4年後を目指し活動を続ける。
- 平成31年43歳の時に「今度こそ!」と県議選に再挑戦、15,253票の信託をいただき3,218票差で初当選。
- 令和5年47歳の時に2期目へ挑戦、17,154票の信託をいただき9,293票差で当選。
- 現在埼玉県議会最大会派自民党県議団で活動中。
- 警察危機管理防災委員会 委員長を務める。

発行 埼玉県議会議員 柿沼貴志 事務所
連絡先 〒361-0077 行田市忍2-17-12 TEL 048-554-1377

e-mail:takashi-kakinuma@mbr.nifty.com

ブログ [f](#) [X](#) [i](#) [は](#) 柿沼貴志



希望の
芽を出せ
柿の種

郷土の声を県政に!!



令和7年 2月定例会 一般質問 県政を質す!!

柿沼の一般質問全体

- 埼玉県の未来を見据えた教育環境整備について(知事)
 - 県内小中学校の統廃合と義務教育学校・小中一貫校の推進について
 - 人口の南北格差について
- 公立中学校の部活動改革について(教育長)
 - 学校の働き方改革の進捗と今後の方向性について
 - 市町村立中学校における目標の達成状況について
 - 学校部活動におけるDXの進捗について
 - 今後の取組について
 - 中学校の部活動改革の方向性について
 - 2つの課題について
 - 具体的な課題解決の糸口や方向性について
 - 部活動改革に伴う地域クラブ活動への移行等に関する県民への理解促進について
 - 県民への理解促進に対する方策の周知について
 - 地域の実情に応じた取組について
- 埼玉県警察本部庁舎の独立化について(警察本部長)
 - 現庁舎の課題認識について
 - 安全保障上の課題について
 - 大規模災害等への対応
 - 市民サービスの拡充について
- ギャンブル等依存症対策について
 - 中高生への予防教育について(教育長)
 - 普及啓発ポスターについて
 - 講習の開催について
 - 講習に当事者や家族の視点を取り入れることについて
 - 普及啓発の取組について
 - ギャンブル依存症者に対する相談支援について(保健医療部長)
 - ギャンブル依存症に悩んでいる人や家族への相談支援について
 - 支援団体や関係機関との連携強化について
 - ギャンブル依存症対策の充実について
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの常勤化と更なる支援体制について(教育長)
 - 令和3年及び5年議会での指摘を受けた進捗について
 - SC・SSWの配置拡充に係る取組について
 - 相談体制の充実に係る取組について
 - SSWの常勤化による継続的支援体制の構築について
 - 孤独・孤立化対策に向けた切れ目のない支援情報の連携
- 災害時の社会的弱者への支援について(福祉部長)
 - 災害時の避難支援マニュアルについて
 - 福祉避難所の開設訓練について
- 新規就農促進について(農林部長)
- 地元問題 - 県道佐野行田線バイパス整備について - (県土整備部長)
 - 都市計画道路北部幹線の国道122号桑崎(北)交差点の東側の状況について
 - 都市計画道路北部幹線の国道122号桑崎(北)交差点の西側の整備について

県内小中学校の統廃合と義務教育学校・小中一貫校の推進について

Q. 県内では人口減少が進行し、小中学校の児童生徒数の減少も頭著となっている。こうした状況下、行田市は市内の小中学校全20校を三つの義務教育学校に再編することを決定した。これは児童生徒数の減少に対応し、より質の高い教育環境を維持するための決断であり、他市町村においても同様の議論が進んでいると伺っている。知事の見解は?

- A. ◆小中学校の統廃合や再編は、教育の質の向上という観点で市町村が主体的に判断すべき。
◆地域住民への丁寧な説明と理解、協力を得ながら進めることが大切。
◆県教育委員会には、市町村に寄り添った支援を引き続きお願いしたい。



学校の働き方改革の進捗と今後の方向性について

中学校の部活動改革の方向性について

Q. 【ア:2つの課題について】
教員の負担軽減と地域移行による新たな価値創出をどう両立させるのか?

- A. 関係者が共通理解を図りながら取り組む。シンポジウムや実証事業で趣旨を伝え、市町村の取組を支援する。

Q. 【イ:具体的な課題解決の糸口や方向性について】
課題を解決するための具体的な糸口や方向性は?

- A. シンポジウムによる啓発、地域での話し合いの場を設定。市町村に好事例を提供し、個別に助言する。

埼玉県警察本部庁舎の独立化

現庁舎の課題認識について

Q. 現庁舎のセキュリティ対策や機能分散の課題についての所見は?

- A. ◆捜査情報や個人情報の取り扱い、テロ対策の観点から、高度なセキュリティ確保が必要。
◆機能分散により災害対応などの拠点機能が十分に発揮できないため、一元化した独立庁舎が望ましい。

安全保障上の課題について

Q. 県庁舎との合同庁舎であることによる、災害やテロ時の機能停止リスクについての所見は?

- A. ◆セキュリティ対策は強化してきたが、合同庁舎であるため出入り口が多く、セキュリティ確保に限界がある。
◆独立庁舎であれば出入り口を一本化し、より高度なセキュリティを確保できるため、早期整備が望ましい。



ギャンブル等依存症対策

中高生への予防教育について

Q. 【講習に当事者や家族の視点を取り入れることについて】
当事者団体の参加についての所見は?

- A. 意義がある。モデル校での取組や講師人選の参考に検討する。

Q. 【普及啓発の取組について】
オンラインカジノ対策としてSNSを活用した啓発は?

- A. 効果的と考える。今後はSNSで違法性や危険性を発信する。

ギャンブル依存症者に対する相談支援について

Q. 【ギャンブル依存症対策の充実について】
予算拡充と対策充実については?

- A. 専門家の意見を聞きながら対策充実を図る。市町村との連携やSNSでの啓発も強化する。

Q. 事業の拡大を進めそれに対応した最大限の予算確保を。

- A. ギャンブル依存症対策の充実は重要な課題と認識。今後も専門家の御意見や当事者・家族の方々などの御意見も伺いながら、効果的な事業の拡充ができるよう、予算の確保も含めて努めてまいりたい。

新規就農促進

Q. いちごや梨の生産を担う新規就農者を確保するために、県として具体的にどのように取り組むのか?

- A. ◆県育成品種のいちごや梨の生産拡大のため、新規就農者の育成が重要。
◆研修生が少ない状況を改善するため、農業法人等が遊休施設等を活用した研修生受け入れを支援し、研修後の就農を促進。
◆経営移譲希望者と就農希望者のマッチングを支援し、経営移譲を円滑化。
◆農業大学校卒業生などの就農希望者を支援し、いちごや梨の生産を担う新規就農者を確保・育成する。

埼玉県議会 警察危機管理防災委員会 委員長としての活動

県民の安全・安心を守る! 警察力強化と独立庁舎化を推進!

埼玉県警察の体制強化に向けた取り組み

埼玉県議会議員、警察危機管理防災委員長として、県民の皆様が安全で安心して暮らせる社会の実現を目指し、以下の2つの柱を中心に活動しています。

県民の皆様が安全で安心して暮らせる埼玉の実現を目指し、以下の2つの柱を中心活動しています。

緊密な課題でした。今回の175人の配置は、県民の皆様が安心して暮らせる社会を実現するための大きな前進です。しかしながら、本県の負担率は依然として高い水準にあり、さらなる体制強化が不可欠です。今後も警察官の増員はもちろん、最新技術の導入や地域との連携強化など、多角的な視点から警察力の強化に取り組みます。県民の皆様が安全で安心して暮らせるよう、声を上げてまいります。

警察本部独立庁舎化:強固な危機管理体制の構築

県警本部は現在、県庁第二庁舎内にあり、部外者の侵入リスクや老朽化、機能分散などの課題があります。テロや災害時には、県庁が標的となる可能性もあり、警察機能の停止は県民生活

に甚大な影響を及ぼします。県警本部を独立させることで、これらの課題を解決し、強固な危機管理体制を構築します。また、警察組織の透明性を高め、県民の信頼性向上にも繋がります。

2025年度以降に策定される県庁舎再整備の基本計画において、
県警本部の独立を最優先課題として位置づけるよう、働きかけていきます。
県民の皆様の声を力に、安全で安心な埼玉の未来を築いていきます!



令和7年2月25日(火)読売新聞(県内版)



柿沼 貴志 委員長



【予算特別委員会での質疑】

拉致問題解決に向けた埼玉県議会での取り組み

全国初の拉致問題条例制定、予算はわずか50万円!?執行部の答弁は?

12月議会で埼玉県は全国初の拉致問題解決に向けた条例を制定。しかし、令和7年度の関連予算はわずか50万円。「これでは条例の実効性が疑われる」と指摘しました。

福祉部長は「まずは新規拡充事業をしっかりと行う中で、次の展開を考えていきたい」と回答。また、予算については「今まで予算にこだわらず、マンパワーで対応してきた。マンパワーを十分に活用していく」と述べました。

予算の大幅増額を要求!

「730万県民、2兆円の予算がある埼玉県で、50万円は少なすぎる!都道府県初の条例制定し、注目されている中、他県に示しがつかない!」と強く主張。さらに「客観的に見ると予算が重要。予算があれば事業が広がり、マンパワーも生まれる」と訴えました。

若年層への啓発と職員研修の重要性

蓮田市での舞台劇を例に挙げ、若年層への啓発の重要性を訴えました。また、条例に基づく職員研修の実施も求め、県職員全体の意識向上を促しました。

福祉部長は、アニメ「めぐみ」の上映や、教育局と連携した授業での活用を検討していると回答。職員研修については、新規採用職員研修で実施するほか、福祉部独自の研修も行うと述べました。



令和7年度当初予算案

一般会計 **2兆2,308億9,000万円**
(前年度比 +5.2%)

全会計合計 **3兆7,017億9,232万7千円**
(前年度比 +4.1%)

今後の取組み

「拉致問題は時間との戦い。親世代は横田早紀江さんのみ。埼玉県がリーダーシップを發揮し、実効性の高い施策を条例と合わせて実行すべき」と訴え、今後も議会でこの問題に粘り強く取り組むことを表明しました。

地域発展のために、共に歩む同志。中田宏 参議院議員

現在は環境副大臣・内閣府副大臣として、環境経済の推進に尽力されています。衆議院議員、横浜市長としての豊富な経験を持ち、行政改革と財政改革に卓越した手腕を発揮されてきました。

私、柿沼貴志が初めて県議選に挑戦した平成27年以来、中田先生とは志を共にする同志として、地域発展のために緊密な連携を続けています。初めての選挙挑戦では、二連ポスターから決起集会での熱い応援まで、多大なるご支援を頂きました。

30年先の日本の未来を見据え、常に日本のことを考える中田先生と共に、これからも地域発展のために邁進してまいります。



地域活動

- 星河地区青少年育成会／顧問
- 星河地区体協／顧問
- 東栄地区自治会／常任理事
- 行田商工会青年部所属
- 行田市空手道連盟評議員



こうだ市長と共にさくらロータリーの皆さんとさきたまテラス北側に桜の植樹を行いました。



▼盲導犬バビーウォーカーはじめました。バビーの「わらちゃん」です。



▲警察委員長として埼玉県警察学校の卒業式で祝意を述べました。



▲八潮の陥没事故に関して知事に緊急要望を提出しました。



▲駅での朝活も継続しています。